



平成 27 年 1 月 26 日

各 位

会 社 名 丸 紅 株 式 会 社
(URL <http://www.marubeni.co.jp>)
(コード番号 8002 上場取引所：東名)
代表者名 取締役社長 國分 文也
問合せ先 広報部 報道課長 花田 多雄
(TEL 03-3282-4805)

通期連結業績予想の修正及び減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 5 月 9 日に公表した平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想について、下記の通り修正することを本日開催の取締役会において決議しましたので、お知らせ致します。

1. 通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,300,000	175,000	300,000	230,000	220,000	126.77
今回修正予想 (B)	14,300,000	175,000	150,000	120,000	110,000	63.39
増減額 (B-A)	0	0	△150,000	△110,000	△110,000	△63.38
増減率 (%)	0.0%	0.0%	△50.0%	△47.8%	△50.0%	△50.0%
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	13,633,520	157,462	236,373	213,286	210,945	121.52

(2) 修正の理由

平成 27 年 3 月期第 3 四半期（平成 26 年 10 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の連結決算において、固定資産の減損損失を主因とした以下の一過性の損失が発生する見込みであることから、平成 26 年 5 月 9 日に公表した通期連結業績予想を上記 (1) の通り修正しました。

<一過性の損失の内訳>

分類	内容	主な損失発生理由	親会社の所有者に 帰属する当期利益 への影響額 ※税引前計数
資源	北海の油ガス鉱区群における固定資産の減損損失	原油価格の下落並びに開発コストの増加	約△600億円※
	その他油ガス鉱区における固定資産の減損損失	原油価格の下落	約△350億円※
	チリ銅事業における固定資産の減損損失	銅価格の下落	約△100億円※
	豪州石炭事業における固定資産の減損損失	石炭価格の下落	約△50億円※
非資源	Gavilon (注) におけるのれんの減損損失	計画未達による事業計画の見直し	約△500億円※
—	税効果等	—	約+400億円
合計			約△1,200億円

(注) Gavilon Holdings, LLC：穀物・肥料関連事業を営む当社 100%子会社（本社：米国ネブラスカ州オマハ）

2. 配当予想について

配当予想につきましては、平成 26 年 5 月 9 日に公表した内容から変更はありません（期末配当：1 株当たり 13 円）。

3. 主な減損損失の計上について

(1) 北海の油ガス鉱区群における固定資産の減損損失

原油価格の下落並びに開発コストの増加により、当社グループが保有する北海の油ガス鉱区群における固定資産の回収不能見込み額について、「固定資産評価損」として約 600 億円の減損損失を連結決算において計上する予定です。

(2) Gavilon におけるのれんの減損損失

Gavilon の当期業績は、前期に続き当初の事業計画を下回る見込みとなりました。この状況を踏まえ、Gavilon の事業計画を見直した結果、のれんの回収不能見込み額について、「固定資産評価損」として約 500 億円の減損損失を連結決算において計上する予定です。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上